



水泳能力測定

10月22日、入隊時における水泳能力測定が行われました。

我々、海上自衛官は洋上で勤務する機会が多いことから、万が一のことがあった場合に備えて、一定の水泳能力を身に着けておく必要があります。命に直結することなので、水泳は体育の必修種目の一つになっています。



測定は、平泳ぎと自由形（クロール）の2種類を行います。測定前にまず泳法（泳ぎ方）とスタートの方法について教育されました。

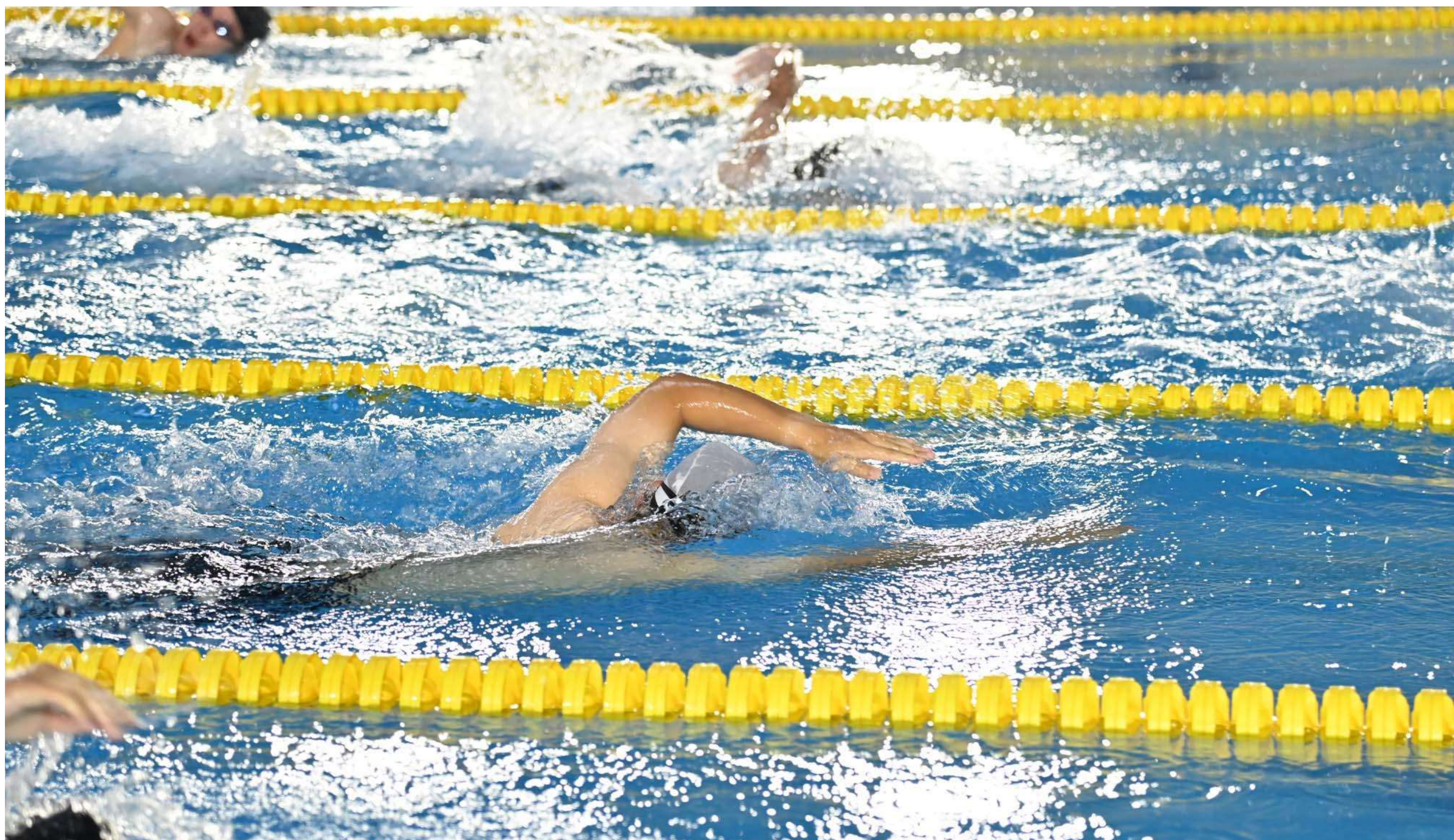
過去、誤った方法で飛び込みを行ったために怪我をしたという事例があり、教育を受け安全に飛び込みできることを確認したうえで実施させなければならないため、今回については水中からのスタートで統一して測定を行いました。



平泳ぎ



自由形(クロール)





既定のタイム内で泳げない、泳法違反がある、そもそも泳ぎ切れない等、今回の測定で基準に達していない学生も安心してください。ちゃんと泳げるようになるまで体育教官が手取り足取り徹底的に特訓（通称：赤帽訓練）してくれますよ。スイミングスクールに行かなくてもタダで50m温水プールを使えて、しかも泳げるようにしてもらえるなんてついてますね(笑)

一生懸命訓練すれば、きっと修業時には基準タイムを切ることができるようになるはず。

一日でも早く赤帽を脱出できるよう頑張りましょう(^O^)/